

2024 年度「ひろしまコミュニティ基金」応募用紙_様式 2

特定非営利活動法人 nicoloop

HP : <https://www.nicoloop.org/>



nicoloop HP

事業名 : nico っとレッスン すてきにへんしんシリーズ おりょうり編

目的

nico っとレッスンはダウン症のある人たちの自立心を養い、生活を豊かにするための力を身につけていく事業でテーマを変えながら毎年実施している。

今年度は「りょうり」をテーマに実施。料理を通して将来的に保護者から離れて生活する力を身につけるだけでなく、栄養バランスを考えて食事を書くことの大切さや衛生管理についても学ぶことで自身の健康管理への意識を高めることを目的として実施。

また、ボランティアスタッフとして広島市内の大学生に協力してもらうことで、障がい福祉への興味関心の向上と人材育成への効果も目的としている。

実施期間 : 2024 年 10 月～2025 年 3 月 全 5 回 実施

この取り組みを通じて、ダウン症のある人達に学ぶ機会を提供し、自立していく姿が広まることで社会の中での認知が高まり、偏見や差別の解消に繋がることが期待できる。nico っとレッスンは、すべての過程を保護者から離れて実施している。障がいのある人は自己選択する機会があまりにも少なく、そのことが自立を妨げる大きな要因となっている。自己選択の機会を奪う原因の多くが保護者の存在であるため、保護者から離れて活動する中で自己選択の機会を与え自分で選択した充実感・達成感を体験し、自立への意欲の高まりに繋がっていく。

また、学生がダウン症のある人と交流することで特別な知識や能力がなくても気軽に交流できる相手であること、無意識の差別の解消の効果が期待できる。



実際にこの取り組み後、受講者の多くが家庭でも家事手伝いに意欲的になり自分でできることが徐々に増えつつあると保護者より報告を受けている。

将来一人暮らしを目標に、レパートリーを増やしていきたいと、受講者本人の意欲も高まってきている。

また栄養バランスを考えるきっかけとなり、量の調整や嫌いなものに挑戦するなど様々な効果が見られている。

学生においては、最初はダウン症のある人との交流に緊張したが、すぐに打ち解けて楽しく交流できていた。学生の中には、この取り組みを通して自身に偏見があったことを認識し今後の価値観に大きな影響があることを語る学生も数名いた。

初めてボランティアに参加するときは、勇気がいるが、一度参加すると繰り返し nicoloop の活動に参加する学生が多く、学生にとって学びの多い場になっていると思われる。